

コロンビアの 大統領選挙(2014)と 和平交渉の行方

南米に位置するコロンビアは人口5千万(ブラジル、メキシコに次ぎ中南米3位)。「コーヒー、エメラルド、バラとカーネーションの生産国」として知られ、現在は日本との経済連携協定(EPA)交渉が進展するなど、今後の経済発展が期待される国のひとつです。40年以上にわたって政府と左翼ゲリラ(FARC=コロンビア革命軍)の内戦がつづいてきましたが、2012年末からキューバを舞台に和平交渉が開始され、和解への動きが注目されています。昨年行われた大統領選挙では「戦争か平和か」が最大の焦点となり、和平推進派のサントス大統領が再選を果たしました。しかし、それは「薄氷の勝利」といえるものでした。この講演では、日本における数少ないコロンビア研究者のひとりである幡谷則子教授がコロンビアの政治・社会情勢やそのバックグラウンドを解説した後、紛争解決と平和構築の研究を専門とするナシ准教授が2014年大統領選挙を分析し、コロンビア革命軍(FARC)と政府の和平交渉について話します。

*ナシ氏の講演はスペイン語ですが、通訳がつかます。

学術講演会 | 参加費無料 | 申込必要 | 120名(先着順)

平成27年6月2日(火) 16:10~17:40

会場 愛知県立大学 長久手キャンパス 学術文化交流センター

講師

カルロ・ナシ氏(コロンビア共和国・ロスアンデス大学 政治学科 准教授)

PROFILE

コロンビア共和国ロスアンデス大学卒業(1988)、英国サセックス大学国際関係論修士課程修了(1993)、米国スタンフォード大学国際安全保障協力センター(CISAC) 研究員(1999-2001)を経て、ノートルダム大学でPh.D.取得(2002)。同年よりロスアンデス大学社会科学部政治学科准教授。専門分野は国際関係論、特に紛争後の平和構築、グローバル安全保障論など。このたび上智大学イベロアメリカ研究所の招聘により来日する。

解説

幡谷則子氏(上智大学外国語学部教授・イベロアメリカ研究所 所長)

PROFILE

上智大学外国語学部卒業(1983)、筑波大学大学院地域研究研究科修了(1985)、アジア経済研究所研究員(1984-2001)を経て、同年より上智大学にて教鞭を取る。この間、コロンビア共和国にて合計4年間の在外研究、UCL:ユニバーシティ・カレッジ・ロンドンでPh.D.取得(2008年、地理学)。専門はラテンアメリカ都市社会学。



募集期間：平成27年5月28日(木) 15:00まで

申込方法：【往復はがきでのお申込】※募集期間内必着 「郵便番号、住所、氏名(ふりがな)、電話番号、6/2講演会希望」を明記のうえ、お申込みください。
【E-mailでのお申込】 「氏名(ふりがな)、電話番号、6/2講演会希望」を明記のうえ、お申込みください。

お問い合わせおよびお申込み先

〒480-1198 愛知県長久手市茨ヶ廻間1522-3

愛知県立大学 研究支援・地域連携課

電話番号:0561-76-8843(直通) / Eメール:renkei@bur.aichi-pu.ac.jp

交通アクセス

- リニモ「藤が丘」駅から八草行き「愛・地球博記念公園」駅下車 徒歩約3分
- リニモ「八草」駅から藤が丘行き「愛・地球博記念公園」駅下車 徒歩約3分

※ 駐車スペースに限りがありますので、公共交通機関でご来場ください。

